

# 平成29年度事業計画

## 【研究主題】

自然と向き合い、多様な考えを受け入れ、主体的に問題を解決する理科学習  
～科学的に問題を解決するために必要な資質・能力の育成～

## 1 活動のねらい

- (1) 学習指導要領に基づく新しい小学校理科教育の充実・発展を図る。
- (2) 理科教育にかかわる教師の資質・能力の向上を図る。
- (3) 研究主題を達成する各部の連携による調査研究を推進する。
- (4) 各種関連研究団体・関係諸機関等との連携によって研修を深める。
- (5) 第50回記念「全国小学校理科研究大会（東京大会）」において、次期学習指導要領で目指している新しい理科教育の内容を都小理として8地区の研究推進委員会による研究実践を通して提案する。

## 2 各部の活動

### 【運営】

- (1) 会計部  
① 予算案の作成及び決算報告の作成 ② 予算の執行・管理
- (2) 庶務部  
① 事業計画の作成 ② 総会・役員会・研究推進委員会・大会実行委員会・理事会等の開催庶務  
③ 役員、顧問・OB、理科担当指導主事等の名簿作成  
④ 全小理、関小理等の開催時にかかわる庶務
- (3) 広報部  
① 「都小理会報」（135・136号）の発行 ② 「全小理会報」の発行
- (4) 調査部  
① 年間3回の理事研究会の企画・運営を行う。  
② 各地区の研究主題、活動内容、新たに開発した教材による指導事例等の情報を収集する。  
③ 各地区・都小理研究部等から寄せられた情報を整理し、広報部と連携し、新たな理科教育に関する情報を提供し、理科教育の充実・発展に寄与できるようにする。  
④ 都小理ホームページの更新・充実（全小理ホームページも含む）
- (5) 編集部  
① 「都小理研究紀要」（32号）の発行 ② 地区理事・部長等の名簿作成

### 【研究】

- (6) 研究部  
① 全小理東京大会研究主題及び都小理研究主題・副主題に基づき、理科学習における問題解決のプロセスについての具体的な取組を8地区の発表校の実践として提案する。  
② 8地区の研究推進委員会は、学校や地域、地区の実情や児童の実態を踏まえて「学びの重点」を位置付け、都小理の提案する研究内容を具体的な実践として発表する。  
③ 大会紀要等を通して、研究成果の公開・普及に努める。

### 【研修】

- (7) 教材開発部  
① 研究部研究推進委員会の各委員会と連携し、研修会の講師を務める教員の育成を図る。
- (8) 研修部  
① 理科指導に必要な資質や能力を高めるために、現地研修会及び実技研修会の企画運営を行う。

研修種類	月 日	項 目	内 容 (場 所)
都認定研修	5月16日(火)	現地研修会I	昆虫教室(多摩動物公園)
都認定研修	7月21日(金)	実技研修会I	電気・鉄の性質(科学技術館他)
都認定研修	7月24日(月)	現地研修会II	地質(多摩川河原・東京学芸大学)
都認定研修	7月26日(木)	実技研修会II	生態系(東京学芸大学)
都認定研修	7月28日(金)	現地研修会III	植物観察・植物画の描写(小石川植物園)
都認定研修	2月(期日未定)	現地研修会IV	冬の天体観測(未定)

- (9) 養成研修部

第12期理科教育研究員及び第8期シニア研究員を、理科教育研究活動の中核となるよう指導・養成する。研究発表会で1年間の成果を発表する。

\*授業公開並びに研究発表会 平成29年1月18日(木) 区立 小学校

## 3 各種関連研究団体との連携

- (1) 全小理、関小理との連携
- (2) 都小理OB会との連携
- (3) 都生総研、都中理、都幼教との連携
- (4) 都指導主事連絡協議会との連携
- (5) 日本理科教育振興協会との連携
- (6) 各関係機関、諸関係研究会(SSTや初等理科など)・各セミナー等の研究案内と協力連携